

浜松観光ボランティアガイドの会

「三島市ふるさとガイドの会」案内と交流会

「三島市ふるさとガイドの会」様より、「はままつ案内人」との交流会を実施したいとの申し入れがあり、9月14日小雨降る足元の悪い中、浜松へお越しいただきました。

三島市ふるさとガイドの会 86名中、37名の会員の皆さんがバス1台で10時30分頃、浜松城公園駐車場に到着され、当会の竹山副会長、太田副会長、鈴木事務局長、雪島東ブロック長、頼母木会員（東ブロック）、広報部小池の6名でお出迎えをしました。

37名を5グループに分けて、1・2・3グループを頼母木、竹山、雪島さんの3人で、浜松城⇒浜松東照宮⇒ホテルコンコルドのコースで、4・5グループを鈴木、



三島市ふるさとガイドの会のみなさん



野面積石垣の説明

崖資料館・浜松駅観光インフォメーションセンター・浜松まつり会館での活動、新人ガイド養成講座、ふるさと講座等々の説明をした後で質疑応答に入り、活発な多くの質問が出されました。犀ヶ崖資料館への出発時間の



浜松東照宮で記念撮影

ガイド料金、月例会への出席率、各ブロックへの人数割はどのように、ブロック会員の入れ替えの有無、男性会員と女性会員の比率、ユニホームについて、会員の当番回数、ガイド状況の実態、外国人への対応は等々、多く出されその都度、竹山副会長より回答をしました。

あいにくの小雨ではありましたが、見学コースを歩きながらの話や、バス車中での和やかな会話をとおして意見交換がされて大変有意義な交流会でありました。

「三島市ふるさとガイドの会」の皆さんは、主に「日本百名城」に選定された山中城跡、三嶋大社等で案内活動をされています。また会は過去に「静岡県観光功労賞」を受賞されています。

広報部 小池輝夫（東ブロック）

太田さんの2人で浜松東照宮⇒浜松城⇒ホテルコンコルドのコースでご案内しました。ホテルコンコルドにて昼食・交流会を実施後、バスに同乗して犀ヶ崖資料館へと御一行をご案内しました。

それぞれの見学先では、各ガイドからの説明を聞き、熱心にメモを取っている方が見えました。

交流会では、竹山副会長より当会の発足経緯、会員数、専門部、各ブロックの組織構成と活動内容、浜松城・犀ヶ



竹山副会長から会の説明



犀ヶ崖資料館前での説明

研修部主催「浜松城跡発掘調査現地説明会」実施

9月27日10時から浜松城にて研修部主催による「第24回浜松城跡発掘調査現地説明会」が実施された。講師は浜松市文化財課の鈴木一有(かずなお)氏で、10月に行う一般の人に対する説明会より詳しい説明をするということで、今回、浜松観光ボランティアガイドの会員に対して行われた。

会員の参加人員は開始時点で雨が降っていたこともあり、参加予定数より少ない50名であった。

最初に、浜松城の歴史について説明があり、会員の皆さんは傘をさして聞き入った。まず、浜松城公園整備を計画するに当たり、10年前から発掘を始めたと言われた。

浜松城は5つの時代があった。「1. 今川時代。2. 家康の浜松城時代。3. 堀尾吉晴による織豊城郭。秀吉好みの石垣、天守閣の構造。4. 吉晴は出雲・隠岐(24万石)に栄転し、浜松城は徳川譜代の城となった江戸時代。5. 廃城令以後の浜松城である」として、詳しく説明された。

天守曲輪での説明の途中で小雨に変わった。続いて、天守曲輪の発掘の経緯、発掘の説明に入った。

これまでの発掘で、堀尾吉晴時代には、現在の地表から2m下に土の表面があることが分かった。従って、天守台の石垣は今の地表より2m下までであるとの説明であった。

天守門が再建された後、天守門に続いている塀を延長することになった。しかし、塀の工事を始めてしまうと、堀尾時代の城郭を確認できるチャンスを逃す恐れがあったので、その前に発掘すべきという意見が受け入れられて、天守曲輪の発掘を始めることができた。

堀尾時代に家康の浜松城は大改修された。文禄・慶長城郭の特徴として、佐賀県の肥前名護屋城のように敵を威嚇する姿であったと考えられる。今の浜松城は江戸時代の平和な時代の城郭になっているとの説明であった。



天守曲輪にて鈴木さんの熱弁を聞く



屏風折りの石垣とその奥に天守

途中で、本丸を囲んだ土塀が天守曲輪南東端から南向き斜め下に傾斜した登り土塀となっていたとの説明があった。これはなかなか他には無いものということであった。

多門櫓、鉄門の説明の後、富士見櫓跡に移った。富士見櫓が乗っていた土塁は東に伸びていて、小学校から南に曲がって本丸を囲んでいた。また、浜松城は引馬宿のあった東向きに設計されており、天守閣は東側が正面であるとの説明であった。

場所を天守曲輪西側の屏風折りの石垣の下に移動した。

「この7、8月に木の伐採を行ったので、屏風折りの石垣が良く見えるようになった。また、ここからは石垣の後ろに天守閣も見えるので、ベストスポットの一つである。屏風折りは他では見られず、ごつごつした石垣が魅力である。工事は大変であり、小さい石を使っている。改修した様子がある。」

次に、鉄門(くろがねもん)跡に移動する



富士見櫓跡から天守を望む



天守曲輪南東端の発掘状況

最後に天守曲輪に戻って、今回の南東端発掘状況の説明があった。前回の発掘で確認された堀尾時代の瓦が今回も大量に発見され、ここに建物があったと思われるので、更に調査結果を整理して発表したいと言われた。

「堀尾時代の浜松城郭は今見える形とは大きく違って、壮大なものと考えられ、発掘によって明らかにしたい。今からワクワクしている。」と熱意のこもった説明で締めくくられた。

このように熱意を持って発掘されることによって、これまで分からなかった堀尾時代の浜松城郭が明らかになることに期待が膨らんだ。

広報部 佐原正敏(中ブロック)

東ブロックミニ研修会「ヤマハイノベーションロード」見学

10月3日、東ブロックから20名、南ブロックから5名の計25名で見学を実施しました。目がとてもかわいくて癒されるぬいぐるみのシロクマ親子に迎えられて展示コーナーへと入って行きました。

白い大きなモーグスピアノ（商品名）があり、自動演奏に合わせて、プロジェクションマッピング（立体物の表面にプロジェクターで映像を投影するパフォーマンス）の技術により、映像がピアノの天板に投影されるのが印象的でした。山葉寅楠さんのご苦勞のおかげで、私達はこんなすばらしい楽しみを与えられました。

グランドピアノコーナーでは、二千万円もする物にさわられるなんてすごい。次は弦楽器、管楽器と職人の技に感心します。オーケストラスーザホン、パーカッション等のコーナーを進み、ゴルフ用品、デジタルライブラリーと、生活の中のヤマハを満喫しつつ贅沢な時間です。“すごい”としか出てきません。日本で最初



1887年頃の第1号型オルガン

のオルガンで象牙の鍵盤に感心しつつ、軍事時代を経てオートバイ、バスタブ、スキー板、ラケット、オーディオ等々、ポップスコンサート、ゴルフ場に進出し浜松を牽引して市民を楽しませてくれました。

昔のこぎり形の工場の屋根を思い出し、私の近所にもヤマハ株式会社に携わる人も多く、興味が尽きませんでした。案内役の矢田さん、ありがとうございます。1時間半程の見学を終え、会食場の「木曽路」ではあまり話をする機会がない方と身近に向かい合い、24号台風のこと、日常のことを話し、おいしい昼ご飯



見学会参加者のみなさん

もあつと言う間の時間です。こういう交流の場を持てたことが大変大切に思えました。

東ブロック 橋本節子

事業部主催「追分小学校ふるさと講座」

10月5日10時15分スタートで、犀ヶ崖資料館を起点に、軽便鉄道奥山線跡地を歩く「ふるさと講座」が事業部主催で行われました。

追分小学校生徒は、3年生23名で2班に分かれ、資料館内の見学（ビデオ鑑賞）、事業部員から本多忠実、夏目吉信の顕彰碑、大島寥太の句碑、ねずみ小僧の供養塔などの説明を受け、物見台では三方原古戦場として指定された唯一の史跡であることを聞き、身を乗り出して崖の下を覗いたりしていました。学校から数分の場所にある古戦場に少し驚いた様子です。そして、自宅が布橋地区の生徒も数人いて、戦死者の「たたり」を鎮める遠州大念仏への興味も湧き、来年の7月15日には見に来たいとも……。



奥山線跡亀山トンネルの説明

水分補給やトイレ休憩の後、200m程離れた三社神社の境内を通り抜け、奥山線跡遊歩道へ向かいました。「新・浜松の自然100選」に指定されているこの遊歩道は、緑豊かでアゲハ蝶やカタツムリの歓迎を受け、亀山トンネルまで鼻歌まじりの楽しいウォーキングでした。

奥山線開業時は蒸気機関車で、煙突がラッキョウに似ていたため「ラッキョウ軽便」と呼ばれていました。戦後、蒸気機関車を全廃し、電車と気動車に切り替わりましたが、次第にバスや乗用車が利用されるようになり1964年には廃止されました。



犀ヶ崖の説明

スタートから約1時間半後、予定通り無事終了しました。

広報部 藤田礼子（中ブロック）

犀ヶ崖資料館 案内板新設される

今年は大きな台風に2度見舞われ、公園の枝が多数折れ公園内に散乱しましたが、資料館部員、三役、資料館当番及び会員の皆様の協力で、無事に利用者様を安全に迎えられ大変有難うございました。

さて、車で来館する観光客から“資料館の場所が非常にわかりにくい”との声を聞き、2年半前から、中区役所まちづくり推進課に粘り強く陳情してやっとできた案内看板が8月29日に設置されました。



新設された案内看板

9月2日の資料館部定例会（毎月第1月曜日開催）終了後、資料館副部長池下さんの発案で撮影した太田副会長と資料館部員の写真です（副部長池下さん撮影）。皆様のご協力のもと、青空のように明るい笑顔で対応できる犀ヶ崖資料館の運営を目指していきます。



看板を囲んで記念撮影

平成30年度後半の企画として、「三方原古戦場犀ヶ崖検定試験（仮称）」を、現在運営委員会で検討いただいています。全国から大勢の人が来場していただけるように、ホームページも有効に活用していく予定です。詳細は今後、ホームページで見ていただければと思います。

定例会では、資料館当番日誌や各ブロックからの要望について協議をし、運営委員会に提案し実行することにより、文化遺産である犀ヶ崖を広く全国の人に知っていただけるよう活動をしていきますので今後とも応援の程よろしくをお願いします。

資料館部長 神原正（東ブロック）

9月のガイド活動 《明るく楽しくやらまいか》

「浜松城」・「犀ヶ崖資料館」・「浜松まつり会館」にて、来場者にガイドを行っています。また、この3箇所の他に「浜松駅観光インフォメーションセンター」や「家康の散歩道」同行ガイド、各種イベントとタイアップしたガイドなど幅広く活動しています。

《浜松城》

複数回来場のあった団体		
* クラブツーリズム	9回	307 名
* JTB	3回	88 名
1 日 土 株式会社遠鉄ストア		70 名
2 日 日 ニュープリンス観光		27 名
4 日 火 DMJ180903		37 名
7 日 金 どんたく会		26 名
9 日 日 愛知エイメイ高等学校PTAOB会		40 名
14 日 金 三島市ふるさとガイドの会		37 名
16 日 日 ウェルサポート住宅部慰安会		24 名
大浦工測株式会社		40 名
20 日 木 鹿玉小学校		55 名
21 日 金 入野小学校		113 名
中領（台湾人団体）		31 名
24 日 月 岡本よしひろ後援会		180 名

27 日 木 積志小学校	155 名
28 日 金 笠井小学校	82 名
芳川北小学校	96 名
* 上記以外に23名以下の19団体	198 名

《犀ヶ崖資料館》

1 日 土 浜松特別支援学校	14 名
14 日 金 三島市ふるさとガイドの会	37 名
21 日 金 入野小学校	71 名
27 日 木 積志小学校	66 名
28 日 金 芳川北小学校	47 名

《浜松まつり会館》

10 日 月 富士急トラベル	38 名
18 日 火 岡部ふれあい市	30 名
* 日曜対応（2、9、16、23日）	410 名
（30日は台風のため休館）	

はままつ案内人会報 199号

編集・発行 浜松観光ボランティアガイドの会

〒430-0946

浜松市中区元城町 100-2（浜松城内）

TEL & FAX 053-456-1303

メールアドレス mail@hama-svg.jp

ホームページ http://www.hama-svg.jp/

はままつ案内人

検索



出世大名 家康くん

出世法師 直虎ちゃん